

新潟県三条市を一級河川五十嵐川が流れている。この川は古くから氾濫の多い川として知られ、地元の方々はたびたび生活を脅かされている。イカラシリイカリは、溢れるという意味をもつていい。山手で降った大雨や豪雨のために川が水を制御できず溢れるのである。宮城県内には船の碇を思わせる地名もあったが、文字だけでの地名解釈は時には間違いのものとなる。青森県には碇ヶ関という地名もある。

あちこちから自然災害が多く聞こえて来るようになつた昨今、被災者の悲しい声や様子が報道されると、早く地名が伝えていたる先人の思いをお知らせしなくてはと焦りが出てくるようになつてきた。もし、ご自分の関わる地で、地名が伝えていたる意味をご存知だつたら、何かの善後策をとることができるのでないか、そうすれば少しは悲劇の嵩を除くことができるのではないか、地名が知らせている災害の歴史を伝えたいとの思いがつのり、たくさんの方々に気づいて欲しい、お知らせしたいと願い続けてきた。

地名は、そこに暮らしてきた人々の、小さくとも、一人一人の大切な生きざまや歴史を伝えていく。教科書に記されているような、国を揺るがすような大きな歴史ではないかもしれないが、私たち庶民にとつては、一番大切で、一番気をつけなければならぬ意味が込められている。その一つが、先人が伝えてきた「災害・崩壊地名」だった。それが突然襲つてくる自然災害に対する心の準備をするためのお役に立てる信じ、地名のもつ意味を再認識してほしいと願つてやまない。

災害・崩壊・津波 地名解 目次

I 洪水など水による災害を知らせる地名	11
あくと・あくつ〈阿久戸・阿久津・赤生津など〉	12
あらかわ〈荒川など〉	14
いかり〈碇・猪狩・五十嵐・五十里など〉	16
うめ〈梅田・梅木・梅ノ木など〉	20
おおなわば〈大繩場など〉	22
おしきり・すなおし・みずおし・みずこし〈押切・砂押・水押・水越など〉	23
かけ・かき〈欠・欠山・懸・懸向・柿崎・大柿など〉	25
かぶき〈冠木・蕪木・蕪栗など〉	28
かわぞこ〈川底など〉	29
かめ〈龟田・亀谷地など〉	31
ねずみ〈鼠谷地・鼠田など〉	32
のぞき〈除など〉	33
びじょ〈美女川など〉	34
へび・じや・せにがみ〈蛇走・蛇喰・錢神など〉	35
ふくろ〈米ケ袋・一の袋など〉	36
みみとり〈耳取など〉	37

やながれ〈矢流など〉

りゅうの付く地名〈竜ヶ崎などの龍・竜の付く地名〉

よな・よね・こめの付く地名〈米川・米山・米ヶ袋・米倉など〉

ろうまる〈四郎丸・五郎丸など〉

つる〈鶴ヶ埼・鶴巻・鶴見・鶴巣など〉

II 鹿崩れなどの災害を知らせる地名

あざぶ・あおそ〈麻布・麻生など〉

あずき〈小豆・小豆坂・小豆島・小豆畑など〉

「あら」の付く地名〈荒川・荒砥沢・荒沢など〉

くい・くらう〈鳥喰など〉

くずれ・くずし〈崩・大崩など〉

くり〈栗生・栗木など〉

くら〈大倉・岩倉・小倉・荒倉など〉

さくら〈桜木・桜・佐倉など〉

さる〈猿田・猿鼻・猿跳など〉

ざる〈笊川・笊田など〉

しろ〈白沢・白欠・白子田など〉

たき〈滝ノ沢など〉

たけ〈竹谷・竹ノ花など〉

つばき・つばめ〈椿山・燕沢など〉

ぬき〈大貫・佐貫・平貫など〉

はなれ〈放森・離森など〉

はぎ〈萩野・萩崎・萩平など〉

ひら〈片平・柿ノ平など〉

もち〈持塙沢・餅田など〉

III 三・一 東日本大震災の津波に関わる地名

一 スナ・スカの地名

ウラの付く地名

ハマの付く地名

シオの付く地名

ミナトに関する地名

塩田があつた地の地名

津波伝説を残す地名

①招又 まねきまた 82

③寄波沢 よっぱさ 84

⑤舟川原 ふながわら 85

43 42 41 40 39
47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 59 60 61 62 63 64 65

82 81 80 79 78 77 76 75
73 72 71 70 68 67 66

I 洪水など水による災害を知らせる地名

⑦浪分神社	なみわけじんじゃ	86
⑨末の松山	すえのまつやま	87
⑪平貝	ひらがい	89
②小金沢	こがねざわ	95
④二十一浜	にじゅういちはま	96
⑥祝田	いわいだ	97
⑧水浜	みずはま	98
⑩砂押	すなおし	99
⑫綾里	りょうり	100
⑭雄勝	おがつ	101
①尾浦	おうら	94
③片浜	かたはま	95
⑤鮎川浜	あゆかわはま	97
⑦湊	みなと	99
⑨港	みなと	101
⑪越喜来	おつきらい	103
⑬陸前高田	りくぜんたかた	105
⑮味噌作	みそさく	107
⑩越	おつ	108
⑯津波被災地に多い地名一覧表		111
地名索引	主な崩壊地名一覧表	109
(2)	(8)	
地名索引	津波被災地に多い地名一覧表	111
(6)	(1)	116
地名索引	主な崩壊地名一覧表	115
(2)	(8)	
IV 東日本大震災の津波被災地の地名		91

地名索引／地名一覧表

地名索引	主な崩壊地名一覧表	109
(2)	(8)	
地名索引	津波被災地に多い地名一覧表	111
(6)	(1)	116

協力をくださった方々、貴重な写真をこころよくご提供してくださった方々に、心より御礼を申し上げます。なお、今後も更なる研究調査に邁進していくことをお約束させていただき、小さな地名に込められた祖先の心を一つでもお伝えしていきたいと思います。

太宰幸子

【参考文献】

『石巻市史』

『気仙沼史』

『気仙沼町史』

『日本歴史地名大系4 宮城県の地名』(平凡社・一九八七年)

『角川日本地名大辞典4 宮城県』(角川書店・一九七九年)

『列島縦断地名道遥』(谷川健一著・富山房インターナショナル・二〇一〇年)

『仙台平野の歴史津浪』(巨大津波が仙台平野を襲う! 飯沼勇義著・宝文堂・一九九五年)

『入谷のむかしかたり』(入谷公民館)

『災害・崩壊地名』(太宰幸子編著・宮城県地名研究会・二〇一〇年)

『みやぎ地名の旅』(太宰幸子著・河北新報出版センター・二〇一一年)

◇各種関連HP

本書は日本出版著作権協会（JPCA）が委託管理する著作物です。複写（コピー）・複製、その他著作物の利用については、事前にJPCA（電話 03-3812-9424、e-mail:info@e-jpca.com）の許諾を得て下さい。なお、無断でのコピー・スキャン・デジタル化等の複製は著作権法上での例外を除き、著作権法違反となります。

【著者紹介】

太宰幸子（だざい・ゆきこ）

1943年宮城県大崎市鹿島台（旧鹿島台町）生まれ。現在も在住。

日本地名研究所・会員／宮城県県地名研究会・会長／東北アイヌ語地名研究会・会長／みやぎ街道の会・顧問。

（主な著書）『みやぎ地名の旅』（河北新報出版センター）／『地名は知っていた・津波被災地を歩く上・下巻』（河北新報出版センター）／『仙台・江戸学叢書14 仙台城下の地名』（大崎八幡宮）／『「要害」地名調査研究報告書』（宮城県地名県有会）／『金属と地名』（谷川健一編 日本地名研究所「地名と風土」叢書（三一書房）／『北大上川下流の水山』共著（国土交通省東北地方整備局北上川下流工事事務所）
『「要害」地名調査研究報告書』で2008年、日本地名研究所・地名研究賞受賞。

地名に込められた伝言

災害・崩壊・津波地名解

2013年 3月11日 初版第1刷発行 定価はカバーに表示しております

著 者 太宰幸子
発行者 竹内淳夫

発行所 株式会社 彩流社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-2-2
TEL 03-3234-5931 FAX 03-3234-5932
ウェブサイト <http://www.sairyusha.co.jp>
E-mail sairyusha@sairyusha.co.jp

編集 塚田敬幸
組版・装幀 板垣由佳
印刷 (株)厚徳社
製本 (株)難波製本

©Yukiko Dazai

ISBN978-4-7791-1870-8

乱丁本・落丁本はお取り替えいたします